

留 学 報 告 書

作成日:2018年3月10日

所属学部／研究科・学科／専攻	国際日本学部/国際日本学科
留学先国	イギリス
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: オックスフォード大学ハートフォードカレッジ 現地言語: Hertford College, University of Oxford
留学期	2017年10月～2018年3月
留学した時の学年	2年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	2年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2018年3月13日
明治大学卒業予定年	2020年3月

留学費用項目	現地通貨 (ポンド)	円	備考
プログラム費用	18,680	2,796,000円	
保険料		円	
授業料		円	
宿舍費		円	
生活費	1,000	15,000円	交際費含む
食費	150	22,500円	
渡航旅費	867	130,000円	
その他	1,200	180,000円	冬休みの旅行等
合計	21,030	31,435,000円	

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など)
大学の所有している家
2)滞在費
プログラム費に含まれる
3)部屋の形態
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 OR <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数)
4)設備について
<input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input checked="" type="checkbox"/> 水道 <input checked="" type="checkbox"/> ガス <input checked="" type="checkbox"/> 給湯 <input checked="" type="checkbox"/> シャワー <input checked="" type="checkbox"/> 風呂(浴槽) <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> エアコン <input checked="" type="checkbox"/> キッチン <input checked="" type="checkbox"/> インターネット環境 <input checked="" type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> その他()
5)住居を探した方法:
大学側が提供
6)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

現地情報

1)現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?
<input checked="" type="checkbox"/> 利用する機会が無かった <input type="checkbox"/> 利用した:
2)保険について。現地の医療保険に加入しましたか?
<input type="checkbox"/> した() <input checked="" type="checkbox"/> しなかった
3)留学前後での予防接種の必要の有無
<input checked="" type="checkbox"/> 有 (C型髄膜炎) <input type="checkbox"/> 無
4)学内外で問題があったときは誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか?
先生やスタッフ
5)現地の治安はどうか? また現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか? 実際に窃盗等を含む犯罪に巻き込まれた場合、どのように対処しましたか?
安全だった
6)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか? (例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)
時々電波が悪くなるが問題はない
7)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)
クレジットカードを使用していた
8)利便性、買い物はどうか? また現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば入力してください。変圧器と電源タップ、マスクは必要だと感じた
9)授業料の支払方法、支払時期等について入力してください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った、渡航前に留学先大学から指示があった、渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)
渡航前に指定された口座へ日本から外貨送金する
10)その他、生活等に関して参考となる事項を入力してください。
特になし

渡航について

1)ビザについて。ビザの種類を入力してください。
ビザの種類(F-1・J-1 など): なし
2)取得方法、提出書類、取得手続きにあたっての注意点等。
3)手続きに要した日数(提出書類の取得からビザ取得まで)
約 日
4)出国と帰国の日付を入力してください。(西暦で入力)
出国: 2017年10月10日
帰国: 2018年3月13日
5)経路を入力してください。(例:成田→シカゴ→ニューヨーク→シカゴ→成田)
羽田→ロンドン→羽田
6)現地での出迎え
<input checked="" type="checkbox"/> 有 (タクシー) <input type="checkbox"/> 無
7)到着後オリエンテーションの実施状況・期間・内容
次の日にオリエンテーションがありました

卒業後の進路について

1)留学を通して生じた、今後の進路についての考えについて教えてください。
視野は広まったが、とりわけ留学を通して生じた進路の変更はなく、卒業後何をするかは決めていない。
2)留学前の単位取得や就職活動に対して工夫した点
授業に出席すること。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
単位	<input checked="" type="checkbox"/> 手続き中 <input type="checkbox"/> 12単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めて入力して下さい。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語訳):
English Language Focus and Development	
科目設置学部・研究科	
履修期間	<input checked="" type="checkbox"/> Fall <input checked="" type="checkbox"/> Winter <input type="checkbox"/> Spring
現地での単位数	()単位
本学での単位認定状況	<input type="checkbox"/> 手続き中 <input type="checkbox"/> 単位認定(本学で認定された単位数を入力して下さい)
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他
授業時間数	1週間に90分が3~5回
担当教授	Alessandro Crucoli
授業内容	英文法やイディオムなど
試験・課題など	試験は冬休み前とプログラム終了前に一回ずつ
感想を自由に述べて下さい	

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語訳):
IELTS Technique and Practice	
科目設置学部・研究科	
履修期間	<input checked="" type="checkbox"/> Fall <input checked="" type="checkbox"/> Winter <input type="checkbox"/> Spring
現地での単位数	()単位
本学での単位認定状況	<input type="checkbox"/> 手続き中 <input type="checkbox"/> 単位認定(本学で認定された単位数を入力して下さい)
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他
授業時間数	1週間に90分が1回
担当教授	Alessandro Crucioli
授業内容	IELTS の演習
試験・課題など	試験は冬休みとプログラム終了前の1回ずつ
感想を自由に述べて下さい	

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語訳):
Guided Study and Research	
科目設置学部・研究科	
履修期間	<input checked="" type="checkbox"/> Fall <input checked="" type="checkbox"/> Winter <input type="checkbox"/> Spring
現地での単位数	()単位
本学での単位認定状況	<input type="checkbox"/> 手続き中 <input type="checkbox"/> 単位認定(本学で認定された単位数を入力して下さい)
授業形態	<input type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input checked="" type="checkbox"/> その他
授業時間数	1週間に210分が0~1回
担当教授	Bruse, Patricia Wimmer
授業内容	工場見学や美術館めぐり、ツアーなど
試験・課題など	見学したところについての感想文やそれに関するエッセイなど
感想を自由に述べて下さい	

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語訳):
Presentation Skills	
科目設置学部・研究科	
履修期間	<input checked="" type="checkbox"/> Fall <input checked="" type="checkbox"/> Winter <input type="checkbox"/> Spring
現地での単位数	()単位
本学での単位認定状況	<input type="checkbox"/> 手続き中 <input type="checkbox"/> 単位認定(本学で認定された単位数を入力して下さい)
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他
授業時間数	1週間に180分が0~1回
担当教授	Alessandro Crucioli, Patricia Wimmer
授業内容	トピックが与えられ、それについて自分たちで調べ、プレゼンをする。
試験・課題など	プログラムの最後に試験としてプレゼン課題が出る
感想を自由に述べて下さい	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語訳):	
Academic Writing			
科目設置学部・研究科			
履修期間		<input checked="" type="checkbox"/> Fall <input checked="" type="checkbox"/> Winter <input type="checkbox"/> Spring	
現地での単位数		()単位	
本学での単位認定状況		<input type="checkbox"/> 手続き中 <input type="checkbox"/> 単位認定(本学で認定された単位数を入力して下さい)	
授業形態		<input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他	
授業時間数		1週間に90分が1~2回	
担当教授		Alessandro Crucoli	
授業内容		エッセイを書く時の構成や有用なフレーズなどを学ぶ	
試験・課題など		冬休み前とプログラム終了前のテストで筆記課題が出る	
感想を自由に述べて下さい			

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語訳):	
British Culture Studies			
科目設置学部・研究科			
履修期間		<input checked="" type="checkbox"/> Fall <input checked="" type="checkbox"/> Winter <input type="checkbox"/> Spring	
現地での単位数		()単位	
本学での単位認定状況		<input type="checkbox"/> 手続き中 <input type="checkbox"/> 単位認定(本学で認定された単位数を入力して下さい)	
授業形態		<input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他	
授業時間数		1週間に 分が 回	
担当教授		外部からの講師など	
授業内容		イギリスの文化を中心としたレクチャー形態の講義	
試験・課題など		物によっては授業前に資料を読む必要がある	
感想を自由に述べて下さい			

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語訳):	
English Literature			
科目設置学部・研究科			
履修期間		<input checked="" type="checkbox"/> Fall <input type="checkbox"/> Winter <input type="checkbox"/> Spring	
現地での単位数		()単位	
本学での単位認定状況		<input type="checkbox"/> 手続き中 <input type="checkbox"/> 単位認定(本学で認定された単位数を入力して下さい)	
授業形態		<input type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input checked="" type="checkbox"/> その他	
授業時間数		1週間に90分が0~1回	
担当教授		Alessandro Crucoli, Patricia Wimmer	
授業内容		それぞれ生徒が(もちろん英語の)本を選びそれを要約し、そこから学んだことをクラスで発表する	
試験・課題など		特になし	
感想を自由に述べて下さい			

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語訳):
Business Skills	
科目設置学部・研究科	
履修期間	<input type="checkbox"/> Fall <input checked="" type="checkbox"/> Winter <input type="checkbox"/> Spring
現地での単位数	()単位
本学での単位認定状況	<input type="checkbox"/> 手続き中 <input type="checkbox"/> 単位認定(本学で認定された単位数を入力して下さい)
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他
授業時間数	1週間に90分が3~4回
担当教授	Alessandro Cruciosi, Patricia Wimmer
授業内容	ビジネスの場で使うような表現や文化間の差異を中心に学びました
試験・課題など	単語などは期末に出る
感想を自由に述べて下さい	

留学に関するタイムチャート

2016年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	TOEFL iBT 提出
2017年 1月～3月	
4月～7月	オリエンテーションなど
8月～9月	
10月～12月	10月：出国 12月：中間試験
2018年 1月～3月	3月：期末試験
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	

留学体験記

留学しようと決めた理由	もともと留学に興味があったこともありこの留学プログラムに参加しました。1年次の夏休みに、明治大学でやっている夏期の短期留学プログラムに参加し、初めてアメリカに行きました。実際に行ってみて、ニュースやメディアを通して見ていたアメリカとの差異に驚き、直に現地に行くことで視野が広がったので、この留学プログラムに参加しました。加えて、自分の英語のスキルを向上させたかったので、周りのもの全てが英語の環境に身を置くことで、より実用的な英語が学べると思いました。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	留学が確定した後、とりわけ何か準備したことはありませんが、日々の授業に取り組む事が準備になると思います。あえて何か言うとしたら、国際日本学部の学生ならば、英語の授業でわからない単語を意識的に調べる事や、エッセイを書く際に thesaurus などを使って自分の語彙力を上げると実際に留学先で議論したり、書き物をする際に表現の幅が広がると思います。休日などにロンドンなどに向かうのであれば、ガイドブックなどを準備すると道に迷うこともなくスムーズに観光できると思います。
留学中に役立った書籍、ウェブサイト等	電子辞書ではなく紙の英和辞書はとても役に立ちました。一見電子辞書の方が便利に見えますが、家に帰って単語の復習をする際に、調べた単語にマークしておくことで、また調べた際に即座に気づきよりしっかりと覚えるように意識するため、紙の辞書は便利だと思います。ウェブサイトでは Weblio と Thesaurus が非常に有用でした。後期になるとエッセイを毎週書くので、その時よりの確かな単語を使うためにそれなりにこれらの web サイトを使用しました。
この留学先を選んだ理由	自分は幼少期に東南アジア諸国で暮らしていたことがあり、日本に帰国した際に様々なギャップに気づき、それ以来ほかの文化に興味を持つようになりました。加えてそのころから他国を実際に見たいと思っていました。上述した通り、明治の夏期短期留学プログラムではアメリカに行ったので、今度の留学はアメリカじゃないところに行こうと思い、オックスフォード大学が目につき、そこに行きたいと思い、志望しました。またハリポッターが好きであることも決め手になりました。
大学・学生の雰囲気	オックスフォードで暮らしていて特に気になったのは、学生たちが意識的に運動をしていることです。それは男性だけでなく女性も等しくストイックにやっていたので、驚きました。また、夜にパブで議論をしている学生が多く、よく目にしたのが印象的でした。実際に友人に連れられて行った時も、日本の大学生たちがするたわいもない話ではなく、政治的な話(例えば EU 脱退について)をしていたのを見て、自分たちより政治に関わろうとする意志が強いと感じました。
滞在先の雰囲気(寮・アパート・ホームステイ・シェアハウス)	寮での約半年の生活は快適でした。壁が薄いので、隣の家族がパーティなどをしていると音が漏れてくることもありましたが、そこまで気になりませんでした。幸か不幸か日本人だけのシェアハウスなので、意思疎通に困ることもなく、お互いに協力し合って生活できたと思います。お互いの予定を確認しあい、家事の役割分担をしたり、生活用品をお金を出し合って共用財布を作りやり繰りしたり、日本で暮らしていたらできなかったであろう貴重な体験ができたと思います。
交友関係	交友関係に関しては半年でそこまで広くなりませんが、パーティなどで知り合った人々とフェイスブックを交換してやり取りしたり、ご飯を食べに行ったりしました。同じ寮の友人の何人かはオックスフォードのソサエティに参加し、そこで交友関係を広げていました。中には相性が合わない人たちもいたようですが、半年一緒に過ごさなければならぬということも影響したのか特にいざこざもなく、相性が悪い人とは適度な距離を取って過ごしている人もいました。
困ったこと、大変だったこと	風邪が流行ったときにオックスフォードでマスクを探したのですが、売っておらず、結局風邪がクラスで蔓延したことが何度かありました。市販で売ってる薬も効き目が弱く治るのが遅くなり、苦労しました。さらに、空気が日本と違うのか、菌のせいなのかは分かりませんが、イギリスにきた直後に自分を含むプログラム生の何人かの喉が荒れて大変でした。それとは別に、英語を使う際に、1対1で話していれば聞き返せるのですが、グループで話すとなるとそうはいかず、なかなか話についていくのが大変でした。
学習内容・勉強について	授業では、スピーキング、ライティング、リーディング、リスニングの4つを満遍なく勉強できたと思います。後期になるとレクチャーの授業が増えるため、それに備えて読み物や調べものをする必要がある上に、エッセイの課題が増えるので、必然的に勉強する量は増えます。しかし、かといって前期が楽なわけではなく、知らない単語を調べたり文法を復習したりなど、授業が終わってもやることはたくさんありました。加えて、ツアーの授業は気軽に質問でき、多くのことを学ぶいい機会だと思いました。

課題・試験について	課題は基本的に毎日出ます。その日やった授業の補てんや、後日やる予定の講義の資料読みなどが出ます。それだけでなく、プレゼンの準備をしたり、エッセイを書くことも課題で出ます。試験は冬休みの前とプログラム終了前にそれぞれ1回ずつ実施されます。基本のテストは共通ですが、通常の授業の中で TOEIC/IELTS のどちらかを選択したかによって受ける試験が変わります。期末テストだけでなく、毎日の授業でも単語の小テストなどがたまに出ます。
大学外の活動について	上でも書いたように、オックスフォード大学のソサエティに参加したり、何かの団体に所属することで外部で活動することができます。イギリスは美術館や博物館の入料が無料なので、休日には近くのそういった施設やロンドンに行って活動していました。週末や夜にはパブに行き、地元の人と話したりして交流をしました。カレッジごとに違ったフォーマルディナーがあるため、そのカレッジに通っている友人に予約してもらい、フォーマルディナーに参加してオックスフォードならではの経験をしました。
留学を志す人へ	オックスフォードに来ようと思っている学生は、ハリーポッター、不思議の国のアリス、ナルニア国物語、指輪物語、のいずれかの物語とバックグラウンドを知っていると、それらの話題が出た際に話に参加しやすくなると思います。(それらの物語の作者や舞台がオックスフォード由来なのでたまに話に出ます。)それと、もしオックスフォードに来るならば、ケバブのバン巡りとパブ巡りをするを強くお勧めします。食べ物はずいといわれているイギリスですが、そこご飯はとておいしいのでぜひ試してほしいです。

一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	Business Language Focus	Pre-lecture Activities	Business Language Focus	Exam Focus	Grammar Clinic	自由	自由
	Business Language Focus	Lecture	Business Language Focus	Current Affairs	Grammar Clinic	自由	自由
午後	Academic Writing	Tutorials	Pronunciation and Social English	Ideomatic Language	自由	自由	自由
	自習	自習	自習	自習	自由	自由	自由
夕刻	晩御飯	晩御飯	晩御飯	晩御飯	晩御飯	晩御飯	晩御飯
夜	自由	自由	自由	自由	自由	自由	自由